

保護者様



# 給食だより 1月号

横浜市立富岡小学校  
校長 浅野 修一  
栄養職員 角田悠紀子

昨年も本校の学校給食・食育にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございました。今年も給食室一同、安全で美味しい給食の提供に努めますので、どうぞよろしく願いいたします。

## 1月の給食

◎日本の伝統的な食文化を伝えるために、正月料理を取り入れました。(白玉そう煮・なます)

◎給食週間にちなんだ献立を取りいれました。

- ・給食の歴史を伝える献立…ごはん・梅干し・焼きのり
- ・横浜に関わりの深い献立…すき焼き風煮、サンマー麺
- ・給食にかかわる人に感謝の気持ちをもてる献立…とんカツ

◎冬においしい旬の食品を取り入れました。

(ぶり・たら・さば・ほうれんそう・こまつな・ねぎ・はくさい・しゅんぎく・だいこん・みずな・ほんかん)



- ・19日(金) 1・2年生、5組は学校で炊いたはいがごはんに変更します。(宮城県産ひとめぼれ)

## 富岡小食育レポート 学校菜園のさつまいもの給食提供

2年生が生活科の授業で育てていたさつまいもを、11月20日に収穫しました。子どもたちは「おいも実行委員」を立ち上げて、「収穫したらおうちに持って帰ったり、給食でも出したりしたい!」と張り切っていたのですが、今年は夏の日照りによる不作で、小さくて細いさつまいもをひとりひとつ持って帰るのがやっとでした。そんな中でも、「給食で、全校のみんなに2年生のさつまいもを食べてほしい!」という声上がり、11月24日の大学いもとして提供することが決まりました。当日は2年生みんなで作ったランチタイムズを放送して、全校にPRしました。2年生の温かい思いや、料理してくれた調理員さんに感謝しながら、全校で美味しくいただきました。

さつまいも掘りの後には、「つる」で、ひとりひとりオリジナルのリースを作っていました。食べられる部分は少なくとも、自分たちで育てた貴重なさつまいもを余すことなく使い、思い出に残る学習になったのではないのでしょうか。



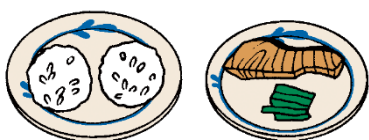
# 給食週間の取り組みを実施します！

日本の学校給食は、明治 22 年に山形県鶴岡市の忠愛小学校で始まりました。第二次世界大戦中は給食も中断されていましたが、戦後アメリカから送られてきた小麦粉と脱脂粉乳により、昭和 22 年 12 月 24 日に再開しました。この日は冬休みと重なるため、1 か月遅らせた 1 月 24 日を「給食記念日」としています。

本校では、今年は 1 月 22 日～26 日の 1 週間を給食週間とし、給食について理解を深め、食べ物や食に携わる人々に感謝する機会として、給食集会（ランチ委員会による、栄養素や食事のマナーに関するクイズ劇）等の活動を予定しています。

## 日本の学校給食の歴史 ～学校給食グラフィティ～

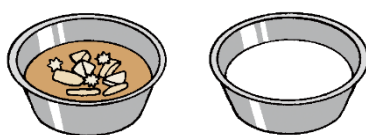
明治 22 年



おにぎり 塩ざけ 菜の漬物

山形県鶴岡市の忠愛小学校の、日本ではじめての給食です。おにぎりには、のりはありませんでした。

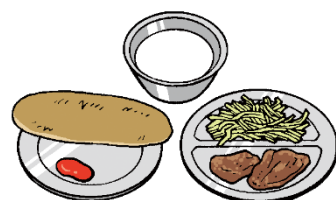
昭和 22 年



ミルク（脱脂粉乳） みそ汁

戦後アメリカのララ物資（\*）により、全国の児童 300 万人に対し給食が再開されました。主食はありませんでした。

昭和 27 年



コッパン ミルク（脱脂粉乳）

鯨肉の竜田揚げ キャベツ ジャム

昭和 25 年アメリカ軍寄贈の小麦粉によりパンが出され、完全給食が広がりました。

昭和 40 年

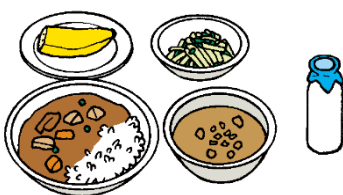


ソフトめんカレーあんかけ 牛乳

甘酢あえ 黄桃缶 チーズ

昭和 39 年文部省が脱脂粉乳から牛乳への切り替えを推進しました。ソフトめんも出るようになりました。

昭和 52 年



カレーライス 牛乳 塩もみ

バナナ スープ

米飯給食がはじまり、月に 1 回からしだいに増えていきました。それに合わせ、和食も増え、はしも導入されました。

今の給食



地場産物を活用したさまざまな献立が活用されています。また、さらに和食給食が増え、日本の文化を伝えられる献立が多く取り入れられています。

\*ララ物資...Licensed Agencies for Relief in Asia:アジア救援公認団体が提供していた日本向けの援助物資